



# 兵庫県隊友会だより

発行責任者：兵庫県隊友会長 小川 祥一

編集責任者：中 筋 功 二

兵庫県隊友会事務局：宝塚市ふじガ丘23-6

☎ 090-2708-3451

✉ taiyu-hyogo@taiyukai.or.jp



## 新年ご挨拶

兵庫県隊友会長

小川 祥一

## 隊員募集と会勢の維持

事務局長 小林 一 吉

昨年は会員の皆様並びに関係協力団体のご支援により、各事業が滞りなく運営することができました。特に11月に兵庫県が担当した近畿ブロック研修会では、役員皆様のご尽力のもと、隊員をはじめ多くの会員、家族会、防衛関係諸団体の皆様にご参加いただき、盛会裡に開催することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、隊友会が公益社団法人（平成23年4月）となってから、本年で15年を迎えます。この間、各都道府県隊友会では、事業の見直しや年々増加する新規事業への対応を進める中で、「会勢拡大」が常に重要な研究テーマとして取り上げられ、各支部・会員の皆様が努力を重ねながら様々な会勢の維持・拡大に努めてこられました。

しかし、令和の時代に入りコロナ禍以降は、「隊員募集の難しさ」や「定年延長」による物理的ブレーキに並行して時代の風と言われたりもしますが、入会希望者数も全国的に減少傾向にあります。隊友会としても会員確保に苦慮している状況です。県では昨年、支部を一部統合し現在9支部となりました。

現役隊員の状況も深刻で、「共済事業への参加率・利用率の低下」や陸自の任意団体である「修親会」「曹友会」への入会者も減少していると聞き及びます。コロナ禍で急激に発達したネット中心の情報環境（今後さらに・・・）の中で学生生活を送った若年層にも、ぜひ職務に直結するコミュニティに属してもらいたいものです。

本年も隊友会活動を進めるにあたり、隊員募集に関する情報収集・提供を行うとともに、組織やコミュニティに属すること、そして対面コミュニケーションが人生の様々な場面でいかに有益であるかを、OB・OGとして伝えていきたいと考えています。



## 令和7年度近畿ブロック研修会開催

11月16日及び17日の二日間にわたって令和7年度近畿ブロック研修会を担当した。本部からは常務執行役末吉洋明氏、近畿地域担当執行役早川・川瀬両氏が出席したほか、畿内の会長（代理者含む）、事務局長並びに兵庫県各支部代表者など多数の参集があった。

研修会においては、隊友会活動状況、家族支援事業の課題及び本部への要望事項の3テーマについて発表・意見交換を行い、会勢維持の工夫や見える隊友会活動に関する資を得ることができた。特に家族支援関連の議題では情報共有及び課題解決をスピーディーに行うためには、主催県地本隊員のほか方面・師団・駐屯地等窓口隊員の参加が不可欠であるとの認識に至った。

防衛講話は元中部方面総監堀井泰蔵氏が「島嶼防衛戦術私見」と題した講話を行った。国会議員、県議会議員、3師団副師団長のほか、現職隊員、家族会、本研修会参加者など他府県会員を含め約70名が講話に聴き入った。

防衛講話に続いて開催した懇親会においては、小川会長挨拶で「熊」がキーワードとなったことから、中締めを特別顧問の熊谷氏にお願いした。会場のホテル側からは、「参加者の年齢層とは思えないほどの盛り上り、会歌合唱の迫力、飲食力など初めての体験でした」との驚きのコメントをいただいた。

二日目は千僧駐屯地を訪問、第3師団副師団長兼駐屯地司令豊田陸将補を表敬したのち、司令業務室長菊池3佐の案内により最新の営内生活環境を整えたモデルルーム見学及び営内規則改正後の生活状況の説明を受けるとともに、修親会・曹友会の現状も説明があり、隊友会員獲得にはより一層の工夫が必要と感じた。また、会食は委託食堂として53年間営んでいる「寿」食堂で開催した。

最後は末吉常務執行役のご提案により、参加者全員で殉職隊員「顕彰碑」を訪れ、殉職された隊員を偲んで令和7年度近畿ブロック研修会を締めくくった。

栄えある受章おめでとうございます

### 第45回危険業務従事者叙勲受章者

令和 7 年 11 月 3 日付  
(敬称略順不同)

#### 瑞宝双光章

岡本 憲勇（伊丹市）	葛岡 範久（神戸市）
窪田 昌也（伊丹市）	桑田 淳弘（猪名川町）
千崎 俊政（伊丹市）	麓 康（姫路市）
前原 勝己（宝塚市）	三宅 義信（姫路市）

#### 瑞宝単光章

一嵐 正則（淡路市）	小林 吉広（尼崎市）
三輪 幸一（西宮市）	山本 一哉（姫路市）

### 県本部主要活動状況 (令和7年8月～令和7年7月)

10月10日～15日	青野原駐屯地招集訓練における入会勧誘と激励（東播支部）
10月25日	姫路駐屯地招集訓練における入会勧誘と激励（姫路支部）
11月14日～18日	青野原駐屯地招集訓練における入会勧誘と激励（東播支部）
11月 9日	姫路市防災訓練（姫路支部）
11月16日～17日	近畿ブロック研修会（兵庫県隊友会担当）
11月24日	姫路駐屯地招集訓練における入会勧誘と激励（姫路支部）
12月 6日	姫路駐屯地創立記念行事（姫路支部）
12月 7日	小野ハーフマラソン2025支援（東播支部）
12月14日	第2回理事役会（書類配布）
12月16日	姫路城クリーン作戦（姫路支部）



## 支部タイムズ

### 但馬国と但馬支部の活動

但馬支部長 西村 秀樹

但馬は県北部の3市2町（豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町）から成り、古代より「但馬国」と呼ばれてきた地域です。北は日本海、南は播磨・丹波、東は京都府、西は鳥取県に接し、東西・南北とも約60km、面積は2,133.30平方kmと県全体の約4分の1を占め、東京都の総面積に匹敵する広大な地域です。人口は約14万4千人と少ないものの、人のつながりが温かい地域です。

但馬は古代から独自の文化を育み、「古事記」「日本書紀」にもその名が記されています。国生み神話にゆかりの深い粟鹿神社や海部氏ゆかりの史跡、「天日槍（あめのひぼこ）」の渡来伝説など、歴史的・文化的遺産が多く残っています。奈良時代には但馬国府が日高町に置かれ、江戸時代には出石・豊岡・村岡に藩、生野銀山には代官所が置かれました。竹野や香住は北前船の寄港地として栄え、海と山が交わるこの地ならではの文化が育まれました。

自然も豊かで、山陰海岸国立公園や氷ノ山後山那岐山国定公園をはじめとする自然公園が広がり、円山川などの河川が日本海へ、市川が瀬戸内海へと注ぎます。兵庫県最高峰の氷ノ山（標高1,510m）を中心に1,000m級の山々が連なり、城崎温泉・湯村温泉などの名湯にも恵まれています。さらに、絶滅したコウノトリの野生復帰にも官民一体となって取り組み、但馬から全国へとその成果が広がり、現在では14府県で繁殖が確認されるまでになりました。再び空を舞うコウノトリの姿は、但馬の自然の豊かさと地域の努力の結晶として、多くの人々に希望を与えています。

但馬支部は、会員数31名と小さな支部ですが、会員相互の扶助と、地域住民と自衛隊をつなぐ架け橋として、心を込めて隊友会活動を進めています。自衛隊兵庫地方協力本部豊岡出張所と連携した募集支援や広報活動（自衛官募集看板の整備等）、そして入隊・入校予定者激励会の開催など、地域に根ざした活動を大切にしています。また、但馬には阪神・淡路大震災翌年の自衛隊災害派遣に感銘を受けた地域住民の声により設立された「但馬自衛隊協力会」（昨年で設立30年）、さらに「自衛隊家族会但馬地区会」があり、当支部はこれら団体と協力しな

活動を展開しています。今年度（令和7年3月10日）も、三団体合同による入隊・入校予定者激励会を開催し、予定者11名とそのご家族、恩師、行政関係者など約40名が参加されました。当日は、姫路駐屯地隊員による「日鷲太鼓」の勇壮な演武が披露され、但馬の山々にこだまするような力強い響きが、若き門出に温かい祝福を添えてくださいました。

古代より「誠を尽くす」ことを重んじてきた但馬の地から、防人の道へと歩み出す後輩の皆さんに、心から敬意を表します。その志が大きく育ち、これからの人生が実り豊かなものとなるよう、但馬支部一同、心よりご祈念申し上げます。

### 心に響く音楽や声

姫路支部事務局長 高橋 宏文

皆さん、歌手のUruさんが歌う「手紙」という楽曲をご存じでしょうか。これは昨年8月15日に公開された映画「雪風」の主題歌として、Uruさんが書き下ろしたバラードです。ミュージックビデオが2本あり、いずれも家族の絆（兄妹、父娘）を表現したもので、とても胸が熱くなり、新たに踏み出す勇気を与えてくれるものです。予告編やMVを散々見たうえで映画「雪風」を鑑賞すると、戦艦へ特攻する描写や不沈艦・幸運艦として仲間を救うシーンの度に涙が溢れ出てきます。

Uruさんは、中島みゆきの楽曲「糸」をカバーしており、その頃からオリジナルよりも私には響きました。聞き覚えのあるこの「手紙」の音源がUruさんであることを直感し、「この人だから伝わるのだ」と感じました。その透き通った声で聴く人を魅了し、有線放送でも頻繁に流れていました。

少しずつ歌番組が増えたものの、かつてあれほど夢中だった音楽番組や揺さぶられたリズムから遠ざかってしまい、今では流行の曲に付いて行けないほど関心が薄れました。20代前半くらいまでは音楽に執着していたので、イントロを聞いただけで瞬時に曲名や歌手を判別できていたのに。ウォークマン世代で終わり、その後の音響機器のことが良くなりません。膨大なレコードやカセットテープ、CDはどこに行ったのだろう。バブル全盛期の頃は、中毒性のあるユーロビート・テクノビートにもハマっていました。若い女性が最も輝いていた時代であり、金をつぎ込んだスーツがまだクローゼットの奥に重なっています。

そんななか、映画フリークでもある私が時折ときめくことがあります。近いところでは、「ワンピース・フィルムレッド」（Ado:新時代）や、「トップガンマーヴェリック」（2022年公開）のオープニング曲などは、映像とともに感性を揺さぶり、士気を鼓舞、色褪せるどころか蘇ってくる新鮮さまでも感じます。

さて、バス通勤時の車内から流れるアナウンスが、それまでの音声吹込みから女子中高生くらいの健気なAIボイスに切り替わってからは、いつも癒されています。設定どおりに機能しているのは解っていても、イントネーションや間の取り方などどこことなくぎこちないところに愛着を感じます。停留所の案内だけでなく、注意事項や広告、終点到着時のお礼まで懸命に。当たり前とは思いつつ、AIやロボットと共存していく未来、文句も言わず忠実に仕事をしていることに感謝しています。少なくとも運転手の負担を軽減し、混雑する車内での乗客の怒りの矛先を逸らし苛立ちの抑制効果に繋がっています。

同様に、仕事場のデスク横に設置されている空気清浄機の「おしゃべり機能」にもとても癒され、その声質・言葉遣いには、愛車のような親近感を覚えます。若い女性、萌えキャラのような声であり、構ってほしいアピールまでの優れものです。戦略としての着眼が良い、違和感なく自発的に動作を促すよう仕向けるこの機能は画期的だと言わざるを得ません。観葉植物以上の働きぶり、不快感・切迫感や係争を回避し、平常心を保つことに役立っていると思います。

ヒトは、母親の胎内にいる時から胎動や周囲の言葉を識別し、親しみや安心を感じ取っていると思うと、音楽や声を与える影響や伝え方は、日常生活のあらゆる場面で人が失敗から学び成長するうえでとても大切なものであると感じるのです。

物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

氏 名	所 属	享年	他 界 日
細川 潤三	伊丹	95	令和 7年 9月14日
清水 基貴	伊丹	85	令和 7年 9月18日
島上 大典	神戸	97	令和 7年11月29日

主要行事案内  
(令和 8年 1月～令和 8年 6月)

- 1月10日 防衛関係諸団体新年互礼会  
(伊丹・川西・宝塚地域支部)
- 1月17日 東播支部第2回防災訓練
- 1月20日 伊丹駐屯地安否確認訓  
(県本部・関係支部)
- 1月25日 千僧駐屯地安否確認訓練  
(関係支部)
- 2月 1日 中部方面音楽まつり
- 2月11日 第3音楽隊定期演奏会
- 2月14日 支部長等合同会同・第3回理事役会
- 2月22日 第36普通科連隊創立記念行事
- 3月 入隊・入校激励会 (各支部)
- 3月17日 練習艦隊入港歓迎行事
- 4月上旬 伊丹駐屯地創立記念行事
- 4月 中部方面隊業務管理教育における  
隊友会説明・入会勧誘 (会長・事務局長)
- 5月中旬 第3師団・千僧駐屯地創立記念行事
- 5月下旬 青野原駐屯地創立記念行事
- 6月 姫路駐屯地殉職者追悼式  
(会長・姫路支部長)
- 6月上旬 防衛懇話会 (会長・各支部)
- 6月上旬 第1回理事役会
- 6月23日 県隊友会長等会同 (会長)
- 23日 本部令和8年度定時総会 (会長)
- 24日 防衛省募集協力者会同 (会長)
- 7月 5日 令和8年度 (第66回) 兵庫県隊友会  
定時総会 湊川神社 (楠公会館)

編集後記

皆さま、お健やかに新年をお迎えでしょうか。昨年よりクマによる事故や被害が相次ぎ、県内でも北丹地域・南丹地域・西播地域にお住まいの方々は、特にご不安のことと思います。

国内には、北海道のみに生息する「エゾヒグマ」と、本州・四国に生息する「ニホンツキノワグマ」がいます。しかし、報道では地域と映像が一致しない場面も見られ、宮城県のニュースで北海道のテロップが付いたヒグマの映像が流れたり、秋田県のニュースで同じく北海道の映像が使われたりするなど、情報の受け取り方を考えさせられる出来事もありました。

また、選挙においても偽情報がインターネット上でも真偽が入り混じった情報が数多く拡散されました。社会の変化が大きい今こそ、私たち一人ひとりが正確な情報を見極める姿勢を持つことが、ますます大切になっていると感じます。皆さまにとって、穏やかで実り多い一年となりますよう祈念申し上げます。 中筋